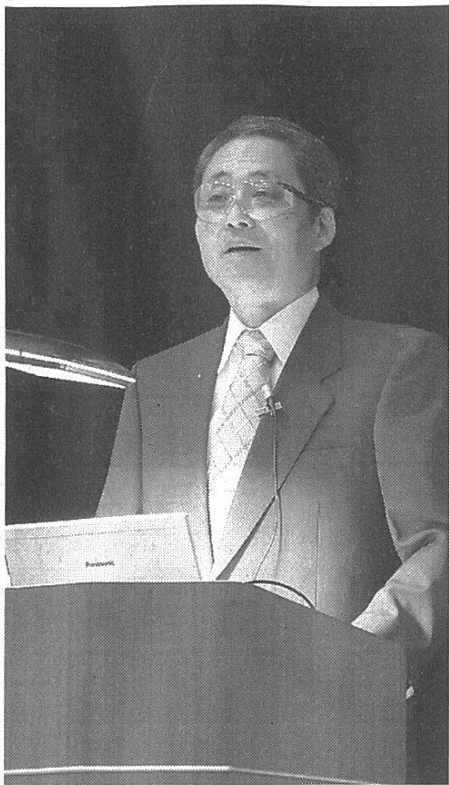


# 女性のための健康セミナー

## 宇部で150人参加

### 乳がんと検診 テーマに講演



乳がんなどをテーマに講演した阿知須共立病院の工藤明敏診療部長・外科部長＝21日、宇部市

乳がんと検診をテーマにした女性のための健康セミナーが21日、宇部市琴芝町の市多世代ふれあいセンターであり、市内の女性ら約150人が参加した。市主催、山口新聞社など後援。

しこりをチェックする自己検診の方法、病院での検診の種類、治療法などを紹介。再発のリスクについても言及して「がんがすぐに死亡に結び付くわけではない。治療によって進行を抑えながら共存することも可能」と説明した。

セミナーは、乳がんの正しい知識と検診の受診を啓発する10月のピンクリボン月間に合わせて開催。医療用ウィッグや乳がん検診車の紹介もあった。

# 生徒ら寄せ植え作り指導

## 下関で西市高の出前授業



下関市豊田町殿敷の西市高校(小松啓二校長、138人)の出前授業「秋の園芸教室」が20日、同町八道の豊田中公民館で開かれ、18人が参加した。

生産流通科の綾野充繁教諭(49)と同科草花専攻の3年生7人が講師を務め、綾野教諭が草花の効用や寄せ植えの基本的な作り方を講義。生徒による実演の後、参加者は同校で育てたパンジーやヒオウチなど4種類を使い、生徒の指導を受けながら寄せ植えを作った。

同町稲見の主婦、篠田静江さん(66)は「高校生に優しく教えてもらい、楽しみながらできた」、同校の落合利友さん(77)は「学校学んだことが生かされて良かった」と話した。

出前授業は草花専攻としては初めての取り組みで、綾野教諭は「人に教えることで生徒たちは理解をめぐり、地域との交流も図れ」と意義を感じていた。